

平成20年度「専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」成果報告書

プログラム名	女性の再チャレンジ支援プログラム		
事業名	社会復帰を目指す女性のためのIT医療事務・電子カルテ・DPC教育		
法人名	学校法人三幸学園		
学校名	仙台医療秘書福祉専門学校		
代表者	理事長 鳥居秀光	担当者 連絡先	石川明彦 022-711-5113
<p>1. 事業の概要</p> <p>2008年に改正された診療報酬で、カルテ電子化関連業務の重要性が大きくなった。これにより、医療機関では、医学知識、接遇対応等幅広いスキルを身につけた人材確保が経営の重要ポイントとなりつつある。そこで、今回のプログラムではこの点に焦点を当てることに特化した。子育てが一段落した医療事務経験者を受講対象者とした。電子カルテ・DPC(医療費の包括請求)教育プログラムを提供することにより、高次のスキルを習得し、再就職活動を有利に展開することを主眼に置いた。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>習得させた技術と知識は次の通りである。①電子カルテ入力操作方法、②電子カルテの使用意義、③電子カルテの利点と課題、④DPC(医療費の包括請求)制度導入背景の理解、⑤DPCの基礎知識、⑥DPC普及の利点と今後の課題</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>今回の受講対象者は、医療事務職の経験者である。その方々に電子カルテとDPC(医療費の総括請求制度)の高次のスキルを習得させる。そして今までの医療事務職の経験を活かし、再就職活動を有利に展開し、社会復帰を果たすことを主目的とした。習得させた知識と技術は次の通りである。①電子カルテ入力操作方法、②電子カルテの使用意義、③電子カルテ使用による利点と課題、④DPC導入背景の理解、⑤DPCの基礎理解、⑥DPC普及による利点と今後の課題の6点である。成果の総括として、まず、これから電子カルテとDPC導入の必要性和意義を受講生にきちんと伝えられた点を挙げておく。今回の訓練を受けたことにより、当初の目的どおり、受講した全員がこれらのスキルを活かした職業に就きたいと思うようになってくれたことも大きな成果と考える(今回のカリキュラムに就職支援プログラムも組み込むことにより、就職活動手順・模擬面接・自分の強みや適正等の発見作業、経歴の棚卸等の作業による自己の振り返りを実施した)。実施時間数は、総時間数120時間のうち、電子カルテに12時間、DPCに18時間を取った。今回のカリキュラムに盛り込んだ、PCスキルのエクセル・ワードの入力操作関連も、パソコンに不慣れな方々も全受講者の半数おり、概ね好評であった。また、受講者の大半が、結婚・子育て等で医療現場を久しく離れていた。そこで、医学の基礎と医療保険の概要の授業も、DPC理解の一環として、大いに役立ったと思われる。</p>			

③今後の活用

この事業のために、電子カルテとDPC教育を新規に開発した。修正を必要とする課題等残ったが、本科生(2年課程)の授業にもぜひ取り入れてみたい。そして、高度な電子カルテ・DPCスキルを身につけた人材の育成を図り、地域に必要とされる教育機関として存在価値を高めていきたい。

④次年度以降における課題・展開

電子カルテ、DPCカリキュラムを提供するに当り、課題が1つ残った。それは、実施時間数が少強なかったことである。修了後の受講生の声で、大多数の方々から、「電子カルテとDPCの学習時間が短かった」、「もっと勉強したかった」等の感想を頂戴した。このプログラムを初めて開発し手がけたということもあるが、当初想定していた時間数では十分な受講満足を得られなかった。この点、電子カルテとDPC教育の時間数増を前提とした、プログラム再構築の必要性を感じた。

3. 事業の実施に関する項目

①履修証明書等

- ・講座総時間数 120時間
- ・1日当りの時間数 6時間
- ・履修証明書発行人数 9名

②カリキュラムの内容

- ・テーマ

前述の「1. 事業の概要」と一部重複するが、平成20年施行の診療報酬改正により、カルテ電子化に伴う関連業務の必要性が増した。医療機関では、電子カルテ・DPC等のスキルを身につけた人材の確保が経営上、重要となった。そこで、医療機関従事経験があり、子育てが一段落した方を対象にさらに高次のスキルを身につけ、就職活動を有利に展開し、社会復帰を目指す教育プログラムを提供する。

③講座の実施

- ・日程； 平成20年11月4日(火)～12月19日(金)で20日間、計120時間
- ・時間； 各日とも9:30～12:30、13:30～16:30
- ・カリキュラム； オリエンテーション1時間、医療保険制度5時間、医事CP講座30時間
PC講座24時間、メディカルマナー講座6時間、基礎医学講座18時間
電子カルテ講座12時間、DPC講座18時間、就職支援関連6時間
- ・定員； 20名
- ・受講者； 女性10名(20代4名、30代3名、40代3名)
- ・実施場所； 当校教室
- ・修了者の主な感想；

「DPC講座を受け、就職先の選択の幅が広がったので良かった。ただ経験者にとっては少し物足りなさも感じた。現在導入が進んでいる電子カルテ講座の時間数がもう少し欲しかった。」

「あっという間の2ヶ月だった。パソコン初心者としては授業についてついていくのが大変だった。もっと電子カルテの時間を増やして欲しい。」

「はじめは不安だったが、先生方とほかの受講生の皆さんと過ごす日々が楽しかった。」

「電子カルテの授業時間が短くて残念だった。医療事務は5日間あり、充実していた。」

④支援対象者(受講者)の状況

修了者9名中、すぐに再就職を希望している方は6名である。この方々に就職支援として次の2つのケアを実施した。①当校グループ会社(人材紹介・人材派遣)への登録、②医療機関求人情報を携帯メール配信サービス。1月31日現在、3名の方が医療機関に就職内定した。